

南魚沼版CCRCの視点

前回のまとめ、事業推進方法
国の政策動向、スケジュール等



株式会社 三菱総合研究所
プラチナ社会研究センター
主席研究員 松田智生



03-6705-6009 tmatsu@mri.co.jp

自己紹介 松田智生(まつだともお)

1966年生まれ 慶応義塾大学法学部政治学科卒業
専門は超高齢社会の地域活性化、アクティブシニア論
内閣府高齢社会フォーラム委員 高知県移住推進協議会委員
著書:「シニアが輝く日本の未来」
「3万人調査で読み解く生活者市場」

前回のまとめ～なぜ南魚沼版CCRCか？

- ◇人口減少、高齢化
- ◇地方創生への新たな一手
- ◇プラチナタウン＝CCRC
- ◇市民がいきいき暮らす
モチベーション高く暮らす

なぜ、南魚沼版CCRCか？

- ◇新たな街づくりが地方創生へ
- ◇アクティブシニアの移住ニーズ
- ◇CCRC = Continuing Care
Retirement Community
健康時から介護時まで安心に
暮らせる高齢者コミュニティ
- ◇介護でなく健康延伸

海外の好事例 冬はマイナス20度でも平均年齢84歳・寝たきり2割

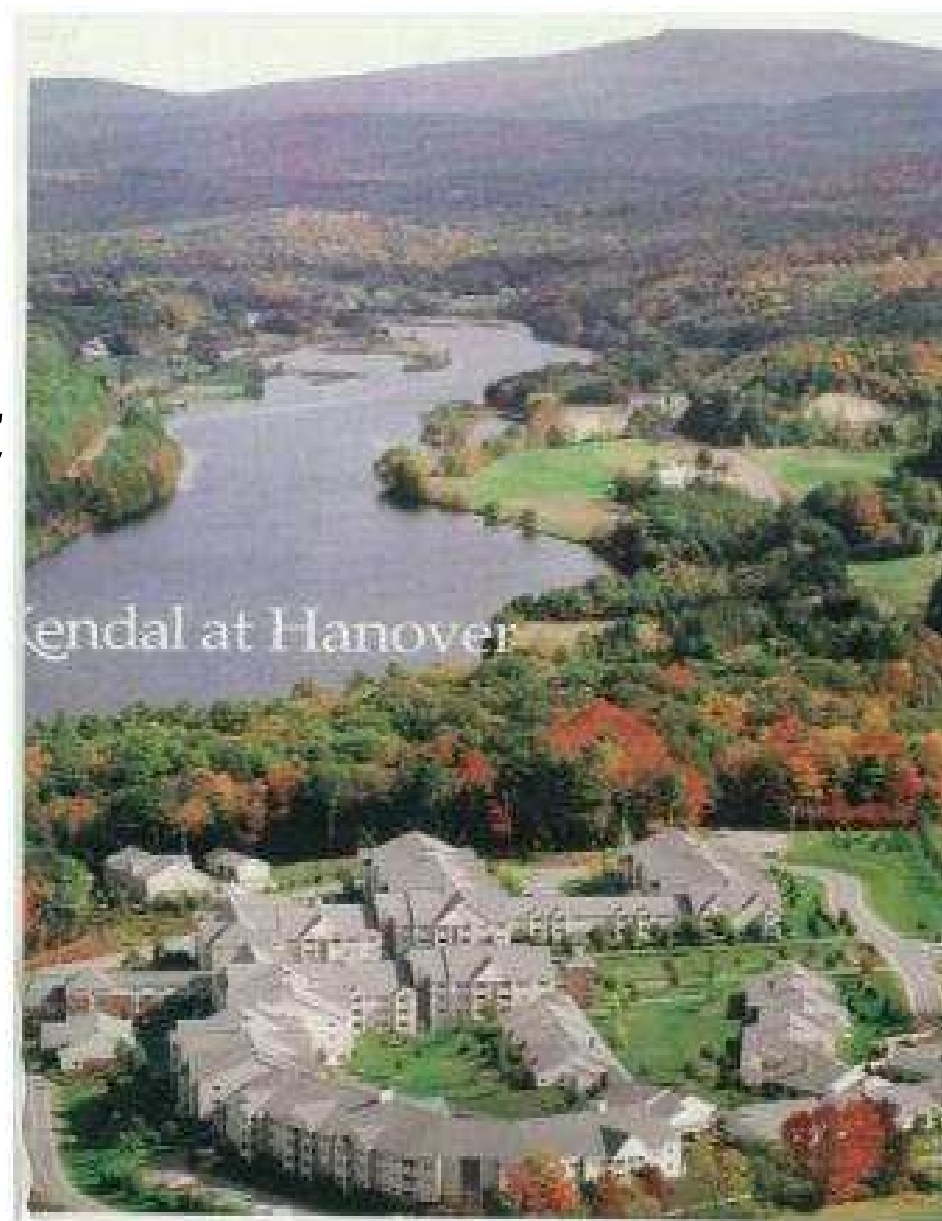
ケンダル・アット・ハノーバー

近隣にダートマス大学と大学病院

居住者数(居室):約400人

従業員: 約300人(正規・非正規)

地域に雇用創出、アクティブシニアの消費
将来の医療費抑制



国内の好事例 シェア金沢（多世代コミュニティ）

- ◇ 1万坪の敷地に、①高齢住宅者②児童入所施設③学生寮の多世代コミュニティ。温浴施設、食堂で外部者を呼び込み。
- ◇ 学生向はボランティア活動を入居条件。
- ◇ 高齢者が障害児童のケアをして介護度が回復



アクティブライフを満喫

●家庭菜園をはじめ農園もできます

自らの手で土をいじり、野菜を収穫する喜びは格別です。農家のように野菜を販売することもできます。



●趣味やボランティアで人生を楽しむ

住人自らが料理教室などの趣味の講座を企画・運営します。人生経験で培った知識や経験を活かすこともできます。



前回の検討 2014年10月27日 南魚沼市役所にて

◇関係者の期待・要望・意見交換

- ・井口市長、新潟県庁河合参与

⇒市、県としての期待

- ・三菱総研

南魚沼版CCRCのビジョン

地方創生、国の政策動向

- ・地元大学の期待⇒国際大学

- ・地元企業の期待⇒八海山醸造

- ・健康プロジェクトとしての期待⇒健康ビジネス協議会



大学連携型CCRCの事業推進方法

1. 主体的 ラッセルカレッジ（大学自ら運営NPOを設立）

2. 一部関与 フロリダ大 オークハンモック

元学長が代表を務めるNPOが運営

計画をコンサル委託、事業開発は民間に委託

3. 外部委託

スタンフォード大 ⇒ハイアットホテルに委託

ダートマス大、イサカ・カレッジ⇒CCRC事業者へ委託

※南魚沼モデル

(1)民間委託 (2)特定目的会社設立

国の政策動向

◇首相官邸 まち・ひと・しごと創生本部

※総合戦略

「移住の推進」

「日本版CCRCの検討」

「地方大学等の活用」

◇2015年1月28日 15時～

日本版CCRC政策提言セミナー（於：三菱総研）

スケジュールの方向性～国プロへの早目の準備

まち・ひと・しごと創生本部

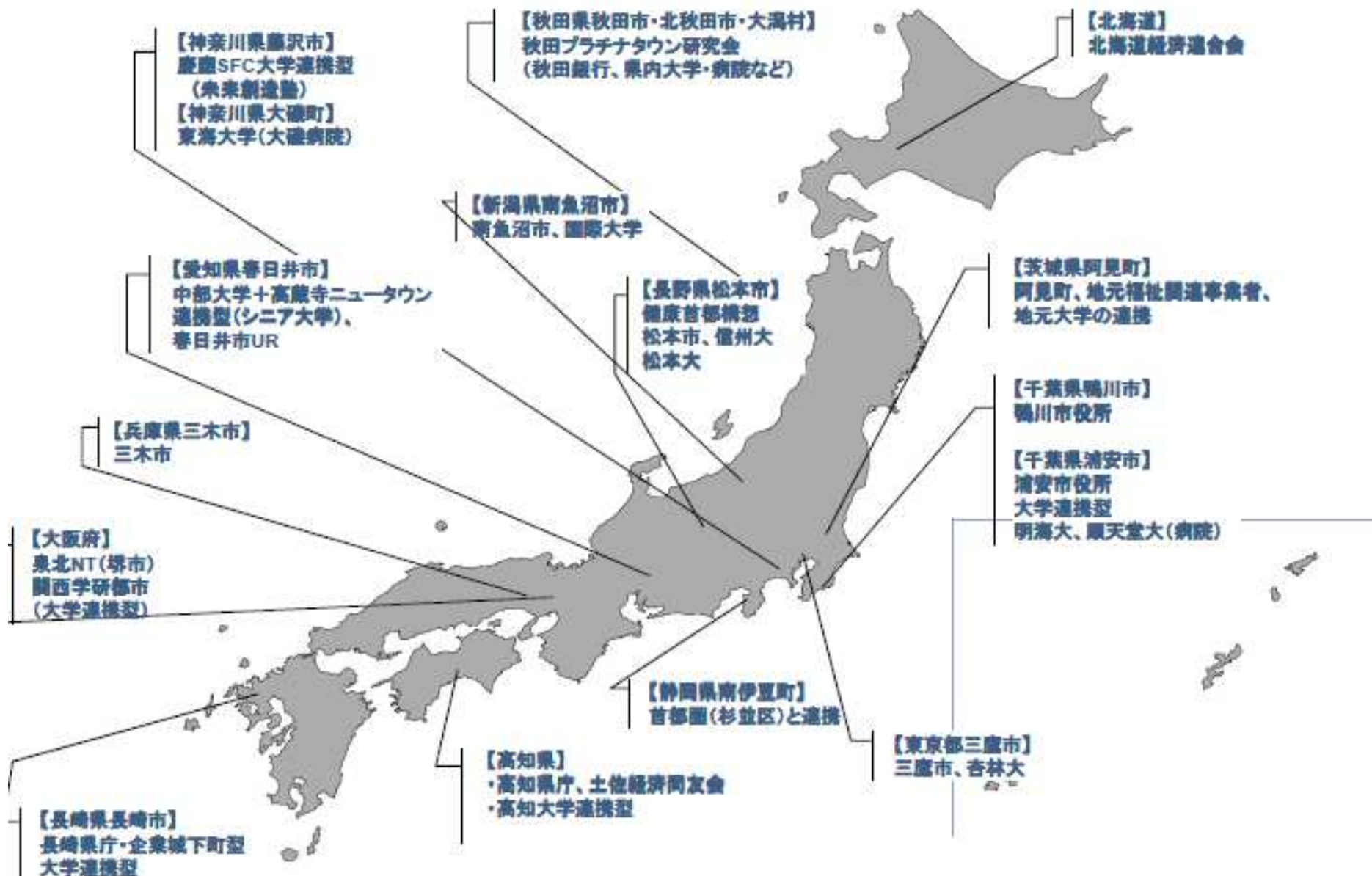
2014年12月末 総合戦略発表

2015年 制度設計(規制緩和、減税、準備調査等)

2016年 モデル事業実施 ※2015年度がポイント

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
勉強会・意見交換会	◆		◆		◆		
うおぬまモデル検討	→						
日本版CCRC提言セミナー				◆			
事業主体、パートナー決定	→						
準備協議会(仮称)設立							◆

全国で動き出した日本版CCRC～地域間競争へ



今日のポイント

- ◇これからは工場誘致でなくアクティブシニアの誘致
- ◇他でなく当地が選ばれる理由は？
- ◇温泉とゴルフ場はどこにでもある
- ◇ユーザー視点のストーリー性
- ◇深い話し合いをワークショップで

